

| | |
|--------|---------|
| 財政調整基金 | 11億4千万円 |
| 減債基金 | 17億2千万円 |
| 小計 | 28億6千万円 |
| 特定目的基金 | 23億3千万円 |
| 合計 | 51億9千万円 |

(三好市基金残高・平成17年度末)

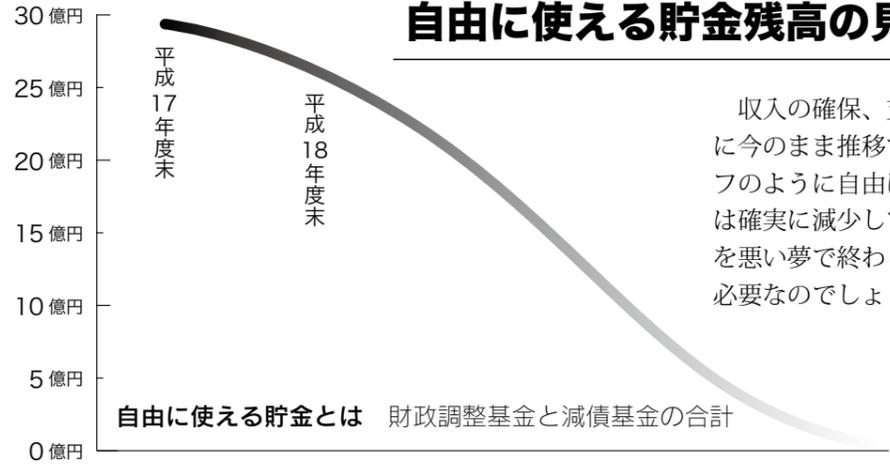
三好市の貯金

三好市には「基金」と呼ばれる貯金があり、年間のお金が不足したときなどに使われます。

「基金」は、以下の3つに大きく分類することができます。

- 財政調整基金** お金が不足したときに自由に使える貯金
- 減債基金** 借入金返済やお金が不足したときに自由に使える貯金
- 特定目的基金** 使い道が限定されていて、自由には使えない貯金

自由に使える貯金残高の見込み



収入の確保、支出の抑制をせずに今のまま推移すると、このグラフのように自由に使える貯金残高は確実に減少していきます。これを悪い夢で終わらせるには、何が必要なのでしょう？

合併して生活環境が悪くなった？ 合併しないほうが良かった？

最終回の今月号では、本当に合併した方が良かったのかどうか。太郎くんと一緒に考えていきたいと思います。

合併による効果

「太郎くん」合併しなかった団体と、合併した団体とでは収入に差が出るの？

「お父さん」合併の財政支援で、平成18年度は地方交付税のうち特別交付税で3億6千万円、普通交付税についても市になったことによる事務増や合併の支援もあつて10億円増えているんだ。

また、合併しなかった団体より合併した団体の方が有利な算定をされるようになっていくんだ。したがって、合併したほうが収入の面で有利であるといえるよね。

「太郎くん」合併したことによって、支出はおさえられるの？

「お父さん」一番分かりやすいのは、今まで6人の町村長がいたけど、合併してからは1人の市長になっているよね。助役、収入役、

教育長についても大幅に減っているから、平成18年度は、平成17年度に比べ年間1億円の経費削減になっているんだ。議員数にしても75人から約半数の38人になっているから、これも年間1億円の削減ができていくことになるよね。

事務的な経費についても、家族の例にとれば分かることなんだけど、今まで6つの家族で6部の新聞を取っていたものが、1部でも足りるし、ご飯を炊いても一つの釜で足りるし、電気代もそう、出張も1家族で対応すれば済む。

合併当初は一つの家族になる引越し費用などのお金が沢山必要だから効果を感じられないけど、こ



で、平成17年度末の貯金の残高は52億円足らずにまで減っているのが現状なんだ。

合併をしないで平成17年度と同じサービスを提供すると考えると約4年で三好市の貯金は全部なくなってしまうことがわかるよね。

先ほど話をした、合併の効果による収入増もあつて、平成18年度のお金の不足は3億円程度(12億円の効果)で収まりそうなんだ。とは言っても、3億円の赤字が発生しているんだから、このままの状態では今後も赤字が増えることになるって、貯金で穴埋めしていくと貯金が底をつくことになるよね。

だから早急な対策が必要とされていて、三好市ではその対策に取り組んでいるところなんだ。

「太郎くん」対策ってどんなこと？

「お父さん」市では健全な財政運営を目標に行財政改革本部を設置し、全ての事務事業について見直すこととしているんだ。それは組織のスリム化や事務の効率的な執行を通して、行政サービスの低下をできるだけ避けたいと考えているからなんだ。

しかし、こうした取り組みは行政まかせではその効果は半減するんだ。市民みんなと今後の行政運営について真摯に意見を交わし、三好市にとっての行財政改革のありべき姿を共に築き上げることが

の削減効果はこれから年を追うごとに出てくるようになるんだ。

「太郎くん」合併によって市の職員数が減ると聞いたことがあるけど本当に可能なの？

「お父さん」これからの職員数については、6人退職に対して1人を採用するように計画されているんだ。本当にこのようなことができるのかと疑問に思うかもしれないけれど、合併をしたことによって効率的に事務を行えることとなり、その結果このような人員の削減が可能となるんだよ。

例えば、福祉の仕事为例にとると、福祉職員1人で担当する人数がA町では200人、B町とC村ではそれぞれ100人であったとすると、合併前は3人で400人に対応していたことになるけど、A町の例でわかるように1人で200人の対応が可能となると、この仕事は2人でできることにな

必要なんだ。

今後こうしたことを念頭に置いて、積極的に行財政改革に取り組んでいくことにしているんだ。

「太郎くん」なるほど。行政だけでなく住民といっしょに取り組むことが大事ってことなんだね。

「お父さん」そうなんだ、市民みんなの理解と協力なくしては行財政改革は実現しないんだ。

最後に

3回に分けて三好市の財政状況を説明してきましたが、財政状況が良くないことはお分かりいただけたと思います。

「生まれて良かった」「住んでいて良かった」「訪れて良かった」そんな三好市を目指すためには、弾力性のある市財政でなければなりません。

決して楽な道の前ではありませんが、三好市の明るい未来のため、市民の皆様と共に財政健全化に向けて取り組んでまいります。

